



令和6年6月26日

せいわにししょうがっこうほけんしつ
成和西小学校保健室

No.18

6年生の
みなさんへ



「くすりの正しい使い方教室」を行いました！

6月20日（木）1時間目に、学校薬剤師の西前克彦先生に
来ていただき、くすりの正しい使い方教室を行いました。

事前にアンケートをとり、アンケートの質問内容に関連して
お話をしてくださいました。



【学習したこと】

◇薬剤師の仕事について

〈薬局や病院に勤務する薬剤師〉

医師の処方せんにもとづいて医薬品を調剤したり、処方せんなしで手に入る
一般用医薬品に関する相談対応をしたりしている。

〈学校薬剤師〉

子どもたちが安全に安心して過ごせるよう、水質検査や照度検査などを行っている。

法律で、大学以外の学校には設置が義務付けられている。

ふだんは、薬局や病院に勤務している人が多い。

◇薬の正しい使い方について

Q. なぜ錠剤やカプセルにしてあるのでしょうか？

…苦い味を隠すため、長い時間、効くようにするため、光から薬を保護

するため、散剤（粉ぐすり）が飲みづらい人のため、胃の中で溶けないで

腸に行ってから溶けるようにするため（※原則、噛みくだいてのまない。）

Q. 牛乳やジュース、お茶で薬を飲んでいいですか？

…だめです。水またはぬるま湯で飲みましょう。

お茶：薬の効き目が弱くなることがある。

牛乳：薬が効くののに時間がかかりすぎることもある。

コーラ：カフェインが効きすぎて、眠れなくなったりすることがある。

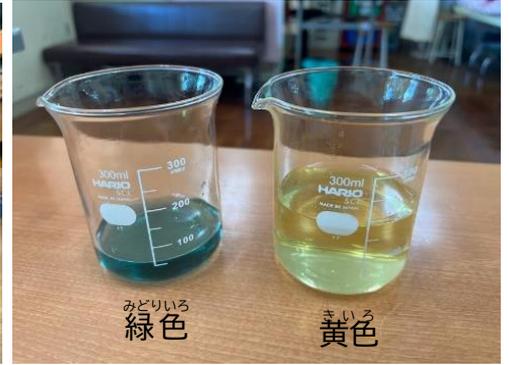
ジュース：果物や野菜の成分は薬の効き目を変えてしまうことがある。



◇学校薬剤師のお仕事体験

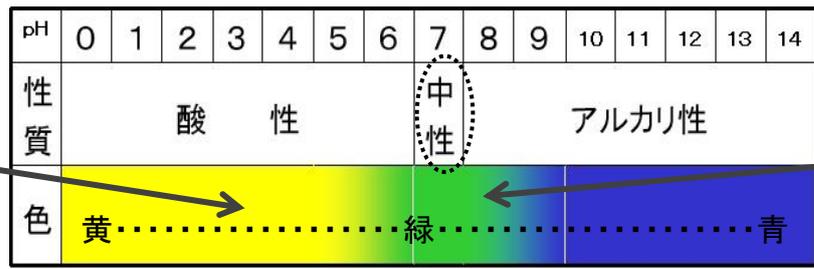
学校の手洗い場やプールの水の水質検査で使用している試薬を使う場面を見させていただきました。

次に、水道水と吐いた息（呼気）をふくんだ水のpH値を比べる体験をしました。「水道水の検査で黄色（酸性）になると、異常なこととしてすぐに報告しなければいけないこととなります。」と教えていただきました。



BTB溶液で2つの水の色を確かめると...

袋の水はこのあたりで、黄緑色に近いすい黄色に変化しました。



水道水は、pH6.8～7.0で中性

○ まとめ

くすりを飲む時の7つの約束

- ① 毎日決まった時間にくすりを飲みます。
- ② くすりを飲む量を守ります。
- ③ 病気が治ったと思っても決められた日までくすりを飲み続けます。
- ④ 他の人からもらってくすりを飲んだりしません。
- ⑤ 他の人に自分のくすりをあげたりしません。
- ⑥ 前の病気の時にもらったくすりは使いません。
- ⑦ くすりは、いつもきちんと整理して保管します。



最後の質問タイムでは、お話の中にあつた、甘い薬、苦い薬はなぜあるの？について、「薬には苦さをおくすりにくすりをかくすために砂糖が使われていると知ったので、薬をのんだあとは歯みがきをしたいと思います。」という感想が出されました。
この授業を機会に、身体を健康にするために、薬と上手につき合っていければと思います。